

# 坊っちゃんと歩く

石田 千

ぼんやりした朝、停車場まえの喫茶店で、モーニングセットを頼んだ。

窓のむこうに、ちんちん。

みじかい車両が過ぎていった。ああ、のがしちゃった、それじゃあ次まで。声をあげたおじさんは、またどつかり腰をおろし、新聞をひろげていた。

図書館、高校、並木通り。かわいらしい路面電車は、町の時間を、ちんちんとめぐるっている。バスも自転車も、タクシーも乳母車も、おなじ信号で、ぬけがけなしで。ぼくぼく歩いて旅していると、ひとの暮らしと交通は、このくらいがほよい気もしてくる。

どうして好きだか、わからない。はじめて乗ったのは江ノ電で、江の島で

買ってもらった海ほうずきが鳴らなくて、ベソをかいたことを覚えている。

東京にも、早稲田や世田谷のあたりを走っていて、近くにいくと、なんとか乗れないものかしら。路線図をめくっては、いつまでも子どもみたいと笑ってしまう。

旅先ならばますますで、函館、福井、広島、熊本。走っていたら、乗ってみたい。たいてい一日乗車券を買って、窓から気になったものが見えるたんに降りる。公園や神社、市場、食堂や居酒屋ののれんがはためいていた。すると、ここもその町の風について、ばたばた躍る。

松山には、伊予鉄道があった。夕方

の下校電車で、野球部の男の子たちがにぎやかにしていた。ふと思い出し、耳をとがらせてみる。

……そりやイナゴぞな、もし。

いたずら好きな学生さんたちのそんな松山ことばは、もう聞こえなかった。

夏目漱石の『坊っちゃん』は、中学の夏休みに読んだきりだった。記念に読みなおそうと町なかの書店に入ると、文庫本が積んであるのはさすがだった。

松山は、漱石の親友、正岡子規の生まれた土地で、いまも俳句が盛んだ。駅や商店街では、投句箱を見かけた。それで、車窓をながめるときおり、へたつびな五七五を浮かべてみる。

お城から子規の記念館へ、坊っちゃん



イラスト・岡林玲

# みんなの

CONTENTS

Vol.

55

2015

◎日本民営鉄道協会とは？

昭和42年に社団法人として設立、平成24年4月1日付で一般社団法人に移行、72社の民営鉄道会社で組織されています。

輸送力の増強と安全輸送の確保を促進し、鉄道事業の健全な発達を図り、もって国民経済の発展に寄与することを目的とした活動を行っております。なお、JR各社や公営地下鉄などは加入しておりません。

んは天ぶらそばだったけれど、お昼は地元で人気の手打ちうどんにした。愛媛も、うどんの文化圏とのこと。会うひとはものごしやわらかで、うどん好きだからかなあ。

文庫本をひらき、江戸っ子坊っちゃん語り口に、ときどきくすりと笑う。一日乗り降りして日が暮れば、やはり道後温泉につかった。

のぼせた顔で名物の団子を食べていると、愛媛は団子とみかんだけではない、地酒のたいへんよいところですよ。

隣りあわせたおばさんが教えてくれて、だんだん小説のなかのような湯あがりになっていった。

この旅らしい、ときおり思い出して読みかえす。

若いころはただおもしろいと笑っていたけれど、日本人特有の義理人情や、近代化に走る世相への批判も見えてくる。そうして、坊っちゃんのただひとりの味方であったお手伝いの清さんが、この青春小説のとても大切なひとであったことに気づく。

いしだせん  
エッセイスト、小説家。福島県生まれ、東京育ち。國學院大學文学部卒業。2001年「天路切書店のこと」で第1回古本小説大賞を受賞。2011年「あめりかむら」で2012年「さなりの雲」で芥川賞候補。著書に「きつねの遠足 石田千作文集」「もし笑う」「夜明けのラジオ」など。最新刊に「唄めぐり」がある。



- 02 四つの季節の鉄道エッセイ 秋  
●作家 石田 千
- 04 福岡・博多の都市形成にみる歴史と風土  
●九州大学名誉教授 福岡市博物館館長 有馬 学
- 08 特集／祭りと地域コミュニティ  
「西日本鉄道が育てる新しい「地縁」のかたち」  
TOP INTERVIEW
- 12 REPORT  
●西日本鉄道株式会社代表取締役社長 倉富純男  
博多もんは祭り好き  
地域の活力は祭りがつくる。
- 14 博多どんたく  
●西日本鉄道株式会社 総務広報部部長 永竿哲哉  
●西日本鉄道株式会社 総務広報部 広報課 課長 三島二郎  
●西日本鉄道株式会社 総務広報部 庶務課 課長 吉田亮  
●西鉄どんたく隊 角銅理帆・吉武修平  
MY OPINION  
柔軟な発想がまちをつくり、夢を描く  
●劇団「ギンギラ太陽s」 大塚ムネト
- 18 博多祇園山笠  
●博多祇園山笠振興会会長 豊田侃也  
●西日本鉄道株式会社 取締役 執行役員 都市開発事業本部 本部長 清水信彦  
MY OPINION  
山笠は、もう一つの人生  
●「博多町家」ふるさと館 館長 長谷川法世
- 22 新しい祭り  
●西日本鉄道株式会社 西鉄よさこい連 山石有紀美  
●泉田幸徳・椋野雅大・山口美波
- 24 INTERVIEW  
アジアの交流拠点、  
国際観光都市 FUKUOKAへ  
●福岡市 経済観光文化局 観光産業課長 三宅宏治
- 26 第99回 定時総会を開催  
みんなでつインフォメーション  
一般社団法人 日本民営鉄道協会
- 28 連載 地方民鉄紀行  
長野電鉄株式会社  
連載 大正・昭和の鳥瞰図絵師 吉田初三郎の世界
- 30 景勝の長崎  
●首都大学東京非常勤講師 藤本一美